

平城宮跡資料館令和4年度春期特別展
平城宮跡史跡指定100周年記念・奈良文化財研究所70周年記念
「未来につなぐ平城宮跡 — 保存運動のあけぼの —」

令和4年は平城宮跡が「史跡」に指定されてから100年という節目の年にあたります。平城宮は都が京都に遷って以降、長らく田舎になっていました。明治時代、その平城宮跡の保存運動を進めた人物としては、奈良の植木職であった棚田嘉十郎がよく知られていますが、保存運動の口火を切ったのは、地元である当時の都跡村の有志たちによる運動でした。

保存運動は、明治34年(1901)4月3日、第二次大極殿の基壇上に標木を建設したことにはじまります。近年、既に失われたと考えられていた当時の標木の一部と関係史資料が地元の旧家で発見されました。本展示では、この標木とその建設前後の史資料を通して、平城宮跡が遺跡として注目され、史跡指定を経て、みなさんが現在目にする姿にいたるまでの保護や整備の流れをご紹介します。保存運動に尽力した地元住民たちや棚田嘉十郎、整備事業に従事した調査員たちの平城宮跡に対する熱い想いを感じていただけますと幸いです。(企画調整部 藤田 友香里)



会 期：2022年4月29日(金・祝)～6月12日(日)

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで)／休館日：月曜休館(5月2日は臨時開館)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/heiijo/museum/> お問合せ：☎0742-30-6753(連携推進課)

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>
Eメール koho_nabunken@nich.go.jp
発行年月 2022年3月